
戦略推進プロジェクト参画事業

- 1 戦略推進プロジェクト 参画候補事業
- 2 今年度の進め方

1 戦略推進プロジェクト 参画候補事業

(1) 参画候補事業

- ・第三期兵庫県地域創生戦略の初年度は、戦略の基本理念のキーワードである「縁(えん)」に深く関係する**五国のご縁（五縁）プロジェクトをメイン**に参画いただく
- ・特に「**地域創生コラボレーションプロジェクト事業**」にアクション委員が積極的に参画することで、地域や人をつなぐ縁を生み出し、地域創生の活動を広げる取組を推進

PJ名	事業名 [所管部局]	事業概要
五国のご縁（五縁）プロジェクト	① 地域創生コラボレーションプロジェクト事業 [企画部]	県内で芽生えた地域創生に資する取組を五国に広げるため、県民・事業者・団体・自治体などの各主体が交流する「 地域創生フェス2025（仮） 」を開催。 また、一般公募により集めた地域創生に係る取組アイデアを公民連携で推進するとともに、地域活性化に資する取組アイデアの提案や意見交換を行うための「 地域創生アイデアソン 」を開催する。
	② 地域のネクストリーダー発掘プロジェクト [県民生活部]	地域づくりのトップランナーである「 すごいすと 」の協力のもと、 若者が地域活動を体験する場を提供 することで、新たな地域人材の発掘育成を図る。 ⇒「 地域創生インターンシップ（仮） 」として実施。

1 戦略推進プロジェクト 参画候補事業

① 地域創生コラボレーションプロジェクト

〈進捗状況・今後の流れ〉

- ~3/28 地域創生に係る取組アイデア → **103**件応募^(仮)
- ・応募者に対してオンラインにて説明会及び個別相談会を実施し、趣旨・目的・今後の流れ等を説明のうえ、参加登録を受付(~4月)
- 5月~6月 地域創生フェスに向けてアイデアの壁打ち・深掘り
- ・集合型ワークショップ/メンタリング等で支援しながら、「アイデアシート」を作成=フェスにおける“参加の仕方”を決定
- 7月~8月 “参加の仕方”に応じた伴走支援(アイデアの練り上げ)
- 8/30(土) 『地域創生フェス2025』※対外的な名称は検討中
- ・会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)
 - ・参加者：アイデア提案者、県庁/市町担当者、企業/関係団体、高校生/大学生 興味・関心を持った一般県民(誰でも)
 - ・内容：アイデアの発表(ステージ・プレゼン、ポスターセッション等)、キーマンによる講演、パネルディスカッション、交流イベント等によるマッチング機会の創出 など
- 9月 公民連携支援選定審査会
- ・実現段階に近いアイデア等の取組を選定(10件程度)し、最大50万円の補助を実施 ⇒事業展開(10月~R8.3月)
- 12月 『地域創生アイデアソン』※会場は、『S BRICK(洲本市)』を想定
- ・次年度フェス等を見据え、アイデアの改善や新規創出などを図るアイデアソンを開催

【アイデアの一例】

- 魅力ある「ローカル人材」を軸とした、「深い」「生きた」旅の提供
- 各地の「コ・ヒト・モノ」を在住者自らが主体的に発信できるプラットフォームを構築
- 若手クリエイターと連携し、地域資源や住民との交流等を含めた地域の短編映画を製作・上映

委員の皆様に関わって頂きたいこと(案)

- ・「アイデアシート」を共有(6月末~7月上旬頃)
→内容を確認頂き、個別のアドバイスや、マッチング候補の関係者等のご紹介など(事務局集約)
- ・「地域創生フェス2025」へのご参加
→(開催当日までの)可能な限りでの周知・PRのご協力
→講演やパネラーとしてのご参画(あるいはご紹介)
→アイデアに対するアドバイス、関係者等のご紹介

・公民連携支援選定委員会の選定委員へのご参加

・「地域創生アイデアソン」へのご参加

※それぞれご参加の状況は画像、動画、テキスト等で情報発信

1 戦略推進プロジェクト 参画候補事業

②地域のネクストリーダー発掘プロジェクト(地域創生インターンシップ(仮))

- ・県民躍動課のR7年度新規事業である「**地域のネクストリーダー発掘プロジェクト**※」と連携して実施
- ・地域活動インターンシップの現場取材を通じた情報発信や総括フォーラム・全体交流会(仮)へ参加するほか、地域創生に関する独自プログラム(計画課で実施)を検討する

※地域づくりのトップランナーである「**すごいすと**」の協力のもと、**新たな地域人材の発掘・育成を図るとともに、体験内容を発信することで広く若者の地域活動への関心を高める**

対象者：地域活動への興味を持つ大学生等の若者 募集人数：20名 活動期間：3か月



【“すごいすと”とは】

- ・独自の取組で地域を元気にしているすごい人や団体を「すごいすと」としてWEBサイトで発信(H25創設以降、現在まで166人、32団体を紹介)

〈実施の流れ〉 ※事業者と実施方法の詳細は現在検討中

計画課・アクション委員会

5～6月

受入団体と若者の マッチング

- ・“すごいすと”が所属するNPO・団体の中から受入可能な団体を選定
- ・参加者(20名程度)と団体の双方の希望を踏まえマッチング

- ・インターンシップ現場の取材、発信
- ・独自プログラムの実施可否の調整及び検討

7月～12月

地域活動インターンシップ

- ・期間中、概ね1～3か月程度
※総活動時間は6h/日×24日を想定
- ・実施期間中はコーディネーター(受託者)が現場を訪問、必要に応じて助言を行うなどサポートを実施

活動例) 里山保全活動体験
地域交流拠点のまちカフェ運営

参加者との意見交換

R8.2月

総括フォーラム 全体交流会(仮)

- ・活動結果の発表、交流の場として実施
- ・受入団体や参加者だけでなく地域づくり活動に取り組む県民も参加

1 戦略推進プロジェクト 参画候補事業

(2) 今後の検討事業

- ・効果的なアクション委員会の関わり方を関係部局と検討中

PJ名	事業名 [所管部局]	事業概要	アクション委員会の関わり方(案)
若者 Z世代 応援	県立高校ふるさと 共創プロジェクト [教育委員会]	高校生が地域資源を知り、活用を学び、地域とのつながりの創出や地方創生に貢献する人材育成を図るための取組(地域行事等への参画、地域企業への就業体験や事業提案等)を支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施校の視察(学校側と要調整) ・R8.2月開催予定の全県発表会へのアドバイザーとしての参画(1名を想定)による各校の取組の改善に向けたアドバイス
ひとり じゃない	ひょうご不登校対 策プロジェクト [教育委員会]	不登校児童生徒支援員(外部人材)の配置による不登校児童生徒への学習、生活等の支援。不登校児童生徒がフリースクール等民間施設で学習を行う場合に授業料等を補助する市町(設置者)を支援。	開催される 不登校相談会の視察 を通じた不登校児童の現状の理解及び意見交換(児童とその親への接触は不可。フリースクール運営者や市教委とは意見交換可能。)
外国人 第二の ふるさと	多文化共生社会検 討実務者会議 [産業労働部]	外国人が安心して暮らせる環境整備のため、関係者の実務者会議を設置するとともに、関係機関・団体等に現状や課題などをヒアリングを実施し、今後の取組を検討。	実務者会議への陪席 により外国人県民の現状の理解及び意見交換(部局としては3回目(次年度の取組の共有等)を想定)
五国の ナリワイ 育み	NEXTじばさん推進 プロジェクト事業 [産業労働部]	県内地場産業の現状を踏まえた戦略的計画の策定と事業展開を支援するため、動機付けセミナーの開催や計画策定のための専門家による支援を実施。	担当者からの進捗状況の報告及び意見交換
ひょうご 五国豊穡	ひょうごオープン ファーム強化学業 [農林水産部]	持続性のある農林漁業経営の実現のため、人を地域に呼び込み、ひょうごの「農」への消費者理解を深め、伝える取組(オープンファーム)を推進するため、オープンファーム・スタートアップ支援や強化支援を実施。	オープンファームの視察 を通じた農林漁業経営の現状の理解及び意見交換 ※スタートアップ事業はアドバイザーによる支援がメインのため、強化支援事業(SNS広告、モデルツアー開催などの経費補助)を念頭とした視察

2 今年度の進め方

R7.6月～
関係部局との調整及び
日程調整

- ・ 参画可能な事業について各委員へ連絡、参加の希望を聴取
- ・ 参加を希望される場合は、日程調整を実施
※日程が決まっているもの、委員指名（専門分野）の場合がある

R7.6月～12月
戦略推進PJへの参画
(現場視察 等)

- ・ 参画した事業（取組）に対する助言、意見交換
- ・ 地域創生フェス等の地域創生コラボ事業については随時相談

8月 地域創生フェス
9月 公民連携支援選
定選定委員会

[R7.8月 兵庫県地域創生戦略会議（第二期戦略実施状況報告）]

R7.10月
第2回
地域創生
アクション
委員会

- ・ R7年度戦略推進PJ構成事業の実施状況及び広報・プロモーション事業の中間報告
- ・ 中間報告や現場視察等を踏まえたR8年度の戦略推進に関する意見交換

12月
地域創生
アイデアソン